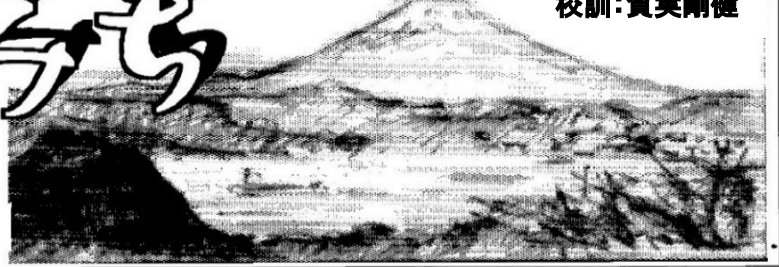


さかみち

大島町立第二中学校校報
通巻 450 号 2 月 25 日

令和6年度第 10 号
校訓: 質実剛健



手放し、信じて、見守る。

副校長 長津 秀和

大人はやり方を知っている。だから、やり方を教えたくなくなるのです。一見、それが近道に思えるから、つい大人は教えたくなくなります。そこでふと考えてみます。「子供の気持ちはどうなんだろう？」と。

教えたい大きな理由は「時間がかかる」から。もちろん、集団生活では時間的な要領の部分ではありますが、子供の目線で考えてみると、やり方を教えられると、やり方を発見する機会を失うことになります。それは、子供から大切な経験を奪うことにならないでしょうか。子供は一生懸命考えて、分からなくて、でも考えている。そんなとき教えてあげると問題が解決して大人はひとまず安心します。しかし、子供はどうでしょうか…そうではなく、一生懸命考え込んでいる子には、そっと「突破口」を届けてあげるといいのだと思います。

「それを解決するためにどんなことができそう?」「どこに載っているか、調べた?」「そこ読んだ?」なんて尋ねてあげる。突破口さえわかれば、あとは本人の問題です。やるか、やらないか。ただそれだけです。やり方を教えるのではなく、やり方を発見する手助けをすることが大事だと思うのです。

こんな経験はありませんか。困っているように「見える」子供を見つけてアドバイスする。すると、子供が沈んだ表情を見せたりする。これはつまり、ネタばれと同じ理屈なのです。一生懸命考えていて、ここまで出かかっている、ああもうすぐわかりそうというところでネタばらししてしまうのと同じことになります。そうではなく、必要としているものを必要としている分だけ伝えればいいのかではないのでしょうか。どうしても大人は介入しすぎてしまう。「親だから」「先生だから」はとりあえず横に置いておき、「この子に必要なものは、この子が自分で獲得していく」という信じる気持ちが必要だと思うのです。知識とは周囲が与えられるものではなく、自分から獲得するものだと思うわけです。

ここで、子供を信じるということは、「この子は本当はもっと賢い子なんだ」と、盲信することではありません。「私はこの子の力を信じています」と言ったりして、それは一見美しく見えます。けれど、その言葉が子供たちには苦しかったりすることがあるかもしれません。

「信じる」というのは、「受け入れる」こと。期待することも大切ですが、その期待がどこから生まれたのかを考えたとき、結果にフォーカスしていたりすることがあります。結果にフォーカスするということは、比べることにつながります。私たちは周りと比べていることがとても多いと感じます。私たちの瞳は外を向いているから、自然と人と比べるようになります。けれど、意識して内側に目を向けてみる。「自分を知る」ということは、「自分で知る」ことなんです。それはだれかが教えるようなことではないのです。「あなたはこうなのよ」だなんて、他人が教えることではないのです。自分で自分に気づいていく。すると、「もっとがんばりたい」とか「あきらめたくない」とか、自然に思うようになるのです。

子供の中に、このような気持ちが生まれてくる。すると、行動が生まれます。つまり、すべてはその子の中で生まれることなのです。信じるとはつまり、子供の中で「生まれる」というプロセスを信じるということです。先回りすることなく、この子の内側を信じるということなのです。それは、ある意味では「あきらめる」ということ。親の意図した通りに育つことを「あきらめる」ということです。すべては子供の内側にあるのです。そのことを信じ切れるか。試されているのは、私たち大人なんだと思います。

◇ 2年 職場体験 ◇

1月21日（火）から23日（木）まで、2年生が職場体験を行いました。「働くこと」を通じて感じたこと、学んだことが、これからの生徒たちの夢や希望のきっかけになることと思います。

ご協力いただいた事業所の皆様、ありがとうございました。



〈 北ノ山保育園 〉



〈 栄楽 〉



〈 肉よし 〉



〈 ピザよし 〉



〈 岡田保育園 〉



〈 紀洋丸 〉



〈 イサム 〉



〈 NTT 〉



〈 げんろく 〉



〈 大島ペットクリニック 〉



〈 四季の味 まんたて 〉

〈生徒の感想より〉

仕事をしていく中でより良い作業の仕方などについて、仕事をしている人全員が積極的に話し合っていたことが印象的でした。

自分も将来は、仕事に対して積極的に向かっていくようにしたいと思います。



〈 栽培漁業センター 〉

◇ 1年 職場訪問◇

1月17日（金）、1年生が島内の事業所等を訪問し、実際に働く人々の姿や現場を見学したり、インタビューしたりして、その仕事のやりがいや苦労などについて学びました。将来の自分自身について、イメージしたり考えたりする貴重な機会となりました。学んだことをスライドにまとめ、2月7日（金）に学級内で発表しました。

～ ご協力いただいた事業所の皆様、ありがとうございました。～

- ・伊豆大島自動車学校 ・Book Tea Bed ・ぶらっとハウス ・岡田保育園 ・東海汽船
- ・一中 ・二中 ・大島警察署 ・大島ペットクリニック ・シャロン ・げんろく
- ・図書館 ・大島椿製油所 ・篠崎農園 ・四季の味まんたて ・牛めし元 ・海のパン屋さん



◇ 「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」 サッカー元日本代表坪井慶介選手を呼んで ◇

2月6日（木）に、東京都が主催する「笑顔と学びの体験活動プログラム」を二中で実施しました。講師には元日本代表の坪井慶介氏を招き、サッカー人生から学んだことを通して、夢に向かって努力することの大切さを教えていただきました。その後の実技講習でも、みんな笑顔で楽しくサッカーに親しみ、スポーツの素晴らしさを実感することができました。終了後もサインをもらいながらコミュニケーションを取り、別れを惜しむ生徒の姿が多く見られ、非常によい活動だったことがわかります。



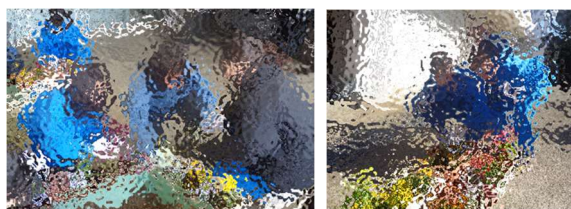
3月の行事予定

学校教育目標： のびやかで、あたたかい心
深く考え、自ら学ぶ力
健やかな身体とたくましい体力

日	曜	行事	給食	日	曜	行事	給食
1	土			17	月		◎
2	日			18	火	卒業式準備 午前授業	◎
3	月	生徒朝礼 さくら小体験入学 都立発表	◎	19	水	第43回 卒業式	×
4	火	避難訓練	◎	20	木	～春分の日～	
5	水	ALT	◎	21	金		◎
6	木	SC	◎	22	土		
7	金		◎	23	日		
8	土			24	月	大掃除	◎
9	日			25	火	修了式 離任式	×
10	月	朝礼 安全指導 1,2年保護者会	◎	26	水	春季休業始	
11	火		◎	27	木		
12	水	ALT	◎	28	金		
13	木	三年生を送る会	◎	29	土		
14	金	卒業式予行	◎	30	日		
15	土			31	月		
16	日						

大島高校との交流授業

2月5日（水）、大島高校にて1学年が農林科の生徒との交流授業を行いました。大島高校で育てた花をいただき、寄せ植え体験をさせていただきました。この花は今後二中で管理し、卒業式の装飾として活用します♪



生徒会サミット

昨年末に生徒会本部役員が生徒会サミットに参加しました。自分の学校をよりよくするため他校の生徒とオンラインで会議を行いました。他校の取組から学び、生徒主体の活動として今後も生徒会活動を充実させていきましょう！



〔3月の主な予定〕

◇ 3年生を送る会 ◇

スローガン：「感謝を笑顔で伝えよう」

○日時：3月13日（木） 5, 6校時

○内容：全校レク

各学年発表

キャンドルセレモニー

*保護者の方も参観できます。詳しくは、各学年からのお便りを確認ください。

◇ 第43回 卒業式 ◇

○日時：3月19日（水）10時開式

○会場：本校体育館

*第3学年13名が夢と希望を胸に、第二中学校を巣立ちます。
地域の皆様の温かい
励ましやご支援あり
がとうございました。

